自主学習のすすめ（中学校　国語科）

自分の考えを書くことによって、「考えの形成」の充実を図る学習の在り方

1　生徒が効果的に自主学習を進めるために、中学校国語科のゴールを想定することが大切です。

（1）「令和二年度　富山県立高等学校入学者選抜問題」と、「平成三十一年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査」に、次のような問題が出題されました。

五　国語の授業で、自分の学校のＡＬＴ（外国語指導助手）に、俳句を使って季節の魅力を紹介することになりました。次の①～④の俳句から一句選び、下の条件に従って紹介文を書きなさい。（俳句の表記を現代仮名遣いに改めた。俳句の左には部分的に意味を記してある。）

① チューリップ喜びだけを持っている　…春

② 夏河を越すうれしさよ手に草履（ぞうり）　…夏

③ とどまればあたりにふゆる蜻蛉（とんぼ）かな　…秋
　増える

④ うまそうな雪がふうわりふわりかな　…冬

【条件】

1　□に選んだ俳句の番号を書く。

2　二段落構成とし、各段落の内容は次の3、4のとおりとする。

3　第一段落は、選んだ俳句からあなたが読み取った情景を説明する。

4　第二段落は、一段落目の内容を踏まえて、選んだ俳句の季節の魅力を紹介する。

5　原稿用紙の使い方に従い、百八十字以上、二百二十字以内で書く。

【令和二年度　富山県立高等学校入学者選抜問題】

みんなの短歌

今回は、新年度を迎えたフレッシュな心境を表現した作品が集まりました。

目が覚めるジリジリジリと鳴る前に胸が高鳴る入学の朝
中一　泉　あきら

新しいノート教科書取り出して背筋伸ばして始まりを待つ
中一　内山　誠一

玄関の鏡の前でもう一度前髪笑顔ボタン笑顔と
中二　森川　りか

春風がいつもの道を駆け抜ける皆の足取り自然と軽く
中三　松田　花子

【選者より】「ジリジリジリと鳴る前に」と「胸が高鳴る」という表現から、いつもは目覚まし時計の音で起きているのに、この日の朝は、胸がどきどきして目覚まし時計が鳴る前に起きてしまったことが想像できます。入学式の朝は、新しい生活に思いを巡らせて、落ち着かない気持ちになるものです。

三　「みんなの短歌」に掲載されている内山さんの短歌、森川さんの短歌、松田さんの短歌の中から一首を選び（どの短歌を選んでもかまいません。）、その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを、【選者より】を参考にしながら、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1　選んだ短歌の中の言葉を取り上げて、想像できる情景や心情を書くこと。

条件2　条件1で想像した内容について、あなたが感じたことや考えたことを具体的に書くこと。

【平成三十一年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査　中学校　国語　大問 1 三】

（2）新学習指導要領で次の二点が強調されたことが、右記の出題の傾向につながっていると捉えます。

① 全ての領域において、自分の考えを形成することを重視している。

② 語彙を豊かにする指導の改善・充実を図ることを重視している。

⇩

生徒が自分の考えをもち、豊かな語彙を用いて文章を書くために、次の自主学習の在り方を提案します。

2　自主学習の提案として、詩歌を活用した鑑賞文の例を紹介します。

（1）　課題例　詩の鑑賞文を書こう（一年）　（制限時間を設定して行う）

○　次の詩で、作者が伝えたかったことは何でしょうか。あなたの考えを、次の条件に従って書きなさい。

今、この一瞬を

立山一朗

走る
緑の山道を私は走る
葉が、木立が、鳥の声が
風とともに流れていく
走る
青い海道を私は走る
波が、しぶきが、白い雲が
風とともに流れていく
変化し続ける情景と
私の身体が一体となる瞬間
走る
走る
走っている、今
この一瞬を私は踏みしめていく

※　掲載してある詩は、このワークシート用に作成しました。

【条件一】　二段落構成とする。

【条件二】　一段落目には、この詩が描いている情景を、詩の表現にふれながら書く。

【条件三】　二段落目には、「この作品で作者が伝えたかったこと」を書く。その際、詩の表現を根拠として示すこと。

【条件四】　原稿用紙の使い方に従い、百八十字以上二百二十字以内で書く。

【活用の方法（案）】

①　プリントを配布する。
②　期限を設けて、生徒に取り組むよう指示する。
③　学校へ提出する。
④　採点する。
⑤　点数と助言を朱書きして生徒に配布する。
⑥　題材となっている詩を、適宜入れ替えて複数出題しながら習熟を目指す。

（2）　課題例　短歌の鑑賞文を書こう（二年）　（制限時間を設定して行う）

○　次の①～④の短歌の中から一首を選び、その短歌を読んであなたが感じたことや考えたことを条件に従って書きなさい。

① くれなゐの二尺伸びたる薔薇（ばら）の芽の針やはらかに春雨のふる
正岡子規（まさおかしき）

② 白鳥はかなしからずや空の青海のあをにも染まずただよふ
若山牧水（わかやまぼくすい）

③ 不来方（こずかた）のお城の草に寝ころびて
空に吸はれし
十五の心
石川啄木（いしかわたくぼく）

④ みづうみの氷は解けてなほ寒し三日月の影波にうつろふ
島木赤彦（しまきあかひこ）

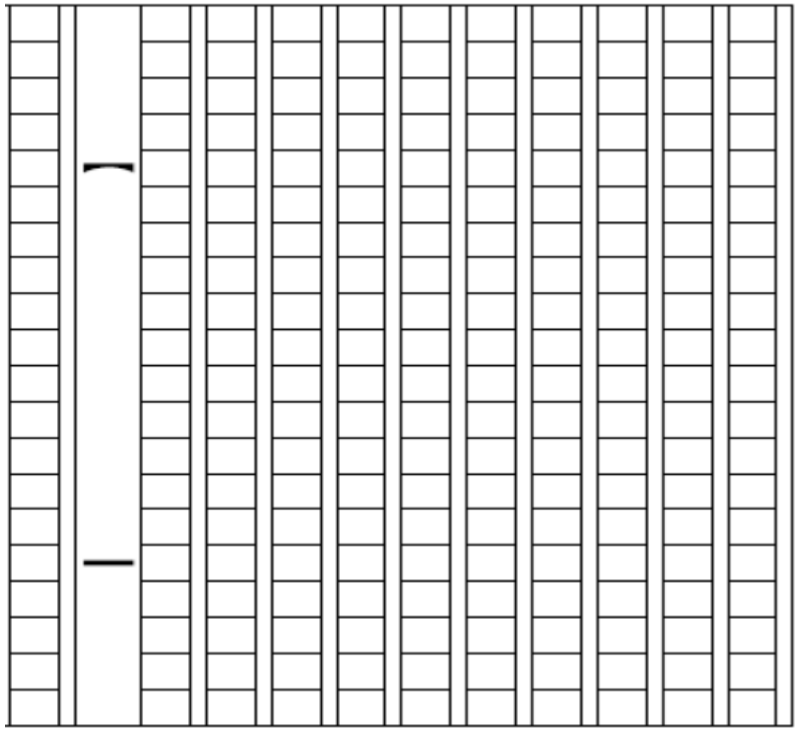
【条件一】　□に選んだ短歌の番号を書く。

【条件二】　二段落構成とし、各段落の内容は次の【条件三】【条件四】のとおりとする。

【条件三】　一段落目には、選んだ短歌から想像した情景や心情を書く。

【条件四】　二段落目には、【条件三】で想像した内容について、感じたことや考えたことについて体験を交えて書く。

【条件五】　原稿用紙の使い方に従い、百八十字以上二百二十字以内で書く。



（3）　課題例　俳句の紹介文を書こう（三年）　（制限時間を設定して行う）

○　俳句を使って季節の魅力を紹介します。次の①～④の俳句から一句選び、条件に従って紹介文を書きなさい。

① 菜の花や月は東に日は西に　・・・春
与謝蕪村（よさぶそん）

② 閑（しづ）かさや岩にしみ入る蝉の声　・・・夏
松尾芭蕉（まつおばしょう）

③ 名月を取ってくれろと泣く子かな　・・・秋
小林一茶（こばやしいっさ）

④ いくたびも雪の深さを尋ねけり　・・・冬
正岡子規（まさおかしき）

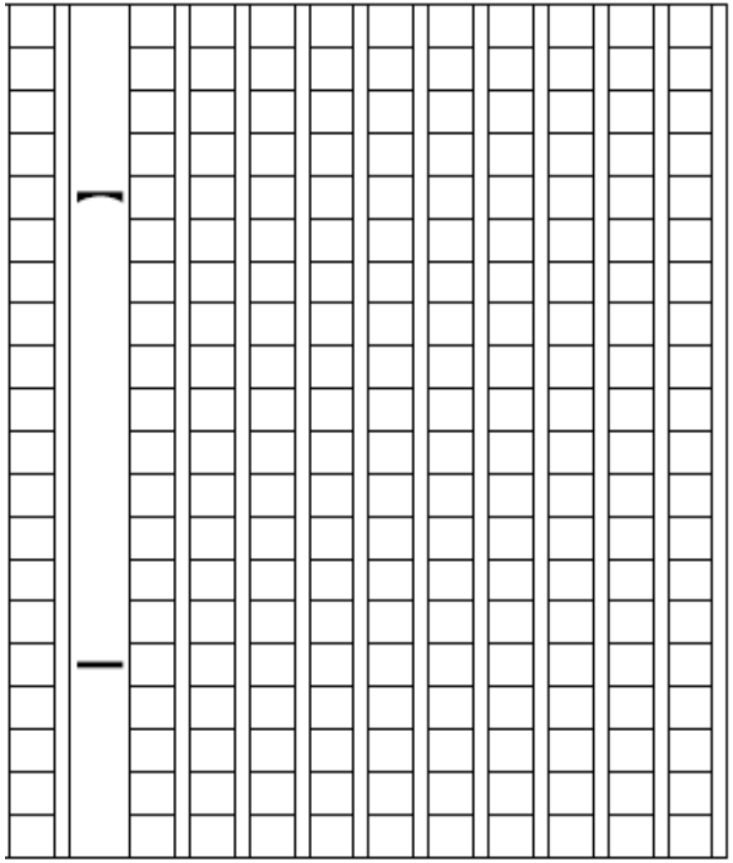
【条件一】　□に選んだ俳句の番号を書く。

【条件二】　二段落構成とし、各段落の内容は次の【条件三】【条件四】のとおりとする。

【条件三】　一段落目では、選んだ俳句から読み取った情景を説明する。

【条件四】　二段落目では、一段落目の内容を踏まえて、選んだ俳句の季節の魅力を紹介する。

【条件五】　原稿用紙の使い方に従い、百八十字以上二百二十字以内で書く。



３　自主学習の在り方、授業の課題について提案します。

★家庭学習の国語科の課題として、「教科書に掲載されている教材を読み、ワーク等を行う」といったものが多いのではないかと推察します。教材を読み、ワーク等の問題に取り組み、内容を捉えることは、国語の学習として有効です。ただし、これだけでは、生徒の学びの成果を捉えることは難しいと考えます。

★家庭学習を進める上で、あるいは、授業で、「話すこと・聞くこと」の学習活動や、「読むこと」の言語活動として生徒同士が対話する場面を設定することが難しい状況では、生徒が自分の考えを書くことによってまとめることが、学びを深めていく有効な手段の一つと考えます。

★これまで、詩や短歌、俳句の鑑賞文を活用して、学びを深める課題を提示しましたが、そのほかに考えられる課題を紹介します。

「自分の考えをもとう」課題例
『小説・随筆等』
例１　題名に込められた意味について書く。
例２　主人公の考え方について、共感したこと、疑問に思ったことを書く。

「自分の考えをもとう」課題例
『古典・漢詩・論語等』
古典例
作者のものの見方・考え方について、現代と比較して共通点と相違点を明確にして感想を書く。
漢文例（漢詩・論語）
自分の好きな漢詩・あるいは論語の一部を選んで、自分が共感できた点を体験と結び付けて書く。

「自分の考えをもとう」課題例
『説明的文章』
例１　日常生活の中で、筆者の考えを生かせる場面を書く。
例２　筆者の主張について、自分の体験と結び付けて書く。

★自分の考えを書かせるためには、生徒に、文学的文章ならば主題を、説明的文章ならば筆者の主張や要旨を、捉えさせる必要があります。
★先生方には、生徒に渡すワークシートに「主題や要旨」を説明する欄、課題、そして、後から、他の生徒の書いたものを示すなどといった配慮も必要になると考えます。

先生方の工夫によって、富山県の生徒たちの「国語で正確に理解し、適切に表現する力」を高めていただきたいと願っています。